



古都っ子だより

令和6年12月23日
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子



「よいことが、つながっていく」

先日「1ねんせいまつり」という行事がありました。来年、小学生になる古都こども園の年長園児24人が古都小を訪問し、1年生が考えた遊びをともに楽しむ企画です。会場は、1年生と年長園児の活気であふれていました。1年生はこの日をとても楽しみにしていて、遊びのコーナーづくり、説明の練習、会全体の進行、園児の誘導や案内のしかたまで周到に準備していました。園児と一緒に来てくださった古都こども園の先生方も、1年生たちの成長に目を細めておられました。

会が終わり、1年生が教室で振り返りのカードを書いていたよ。

- おみせとうばんで、じょうずにせつめいできたよ。
- こどもえんの人がたのしいとおもってくれるようにしたよ。
- きょうりよくやくふうをしてがんばったよ。



アーチェリー

といった自分たちのよさに関する内容が多くありました。また、

- おもちゃをたいせつにつかってくれてうれしかった。
- こどもえんの人ルールがまもれてすごいな。



さかなつり

など、園の人のよさに気付いた感想もありました。さらに、

- こどもえんの人といっしょにできてよかった。
- つぎの1年生にもがんばってほしいな。



もぐらたたき

といった、仲よしになれたうれしさや、これからいっしょに活動することへの期待感もうかがえました。自分だけでなく、相手のことを考えることができるようになった1年生の成長ぶりがよく伝わってきました。しかし、1年生はこの行事だけで育ったわけではありません。

1年生は10月に2年生から「おもちゃフェスティバル」という行事に招待され、そこでいろいろなことを学びました。2年生は「1年生が楽しくなるように」「もっと仲よくなれるように」と願いながら活動しました。その思いは1年生にしっかりと伝わっています。2年生にあてた1年生の感謝状には、

- たくさんおもちゃを作ってくれてありがとう。
- いっしょにあそんでくれてありがとう。
- ぼくも2年生みたいにかっこよくなりたい。
- またあそぼうね。はっぴょうかいがんばろうね。



楽しかったおもちゃフェスティバル!



のような言葉が並んでいました。2年生の思いやがんばりが1年生に伝わり、その思いを引き継いだ1年生が、また次へ伝えていく...。一連の活動にはそんな好循環があるのです。今年、1年生が見せてくれた「がんばり」や「やさしさ」は、一緒に活動した園の人たちにも引き継がれていくことでしょう。

「がんばることの大切さ」「やさしさの尊さ」「人に対する憧れ」など、「よいこと」のつながりは、1、2年生だけでなく、小学校の全学年の学習、生活、行事などの場面にあります。「よいことが、つながっていく」そんな学校でありたいと願っています。

(校長 石井 聡)